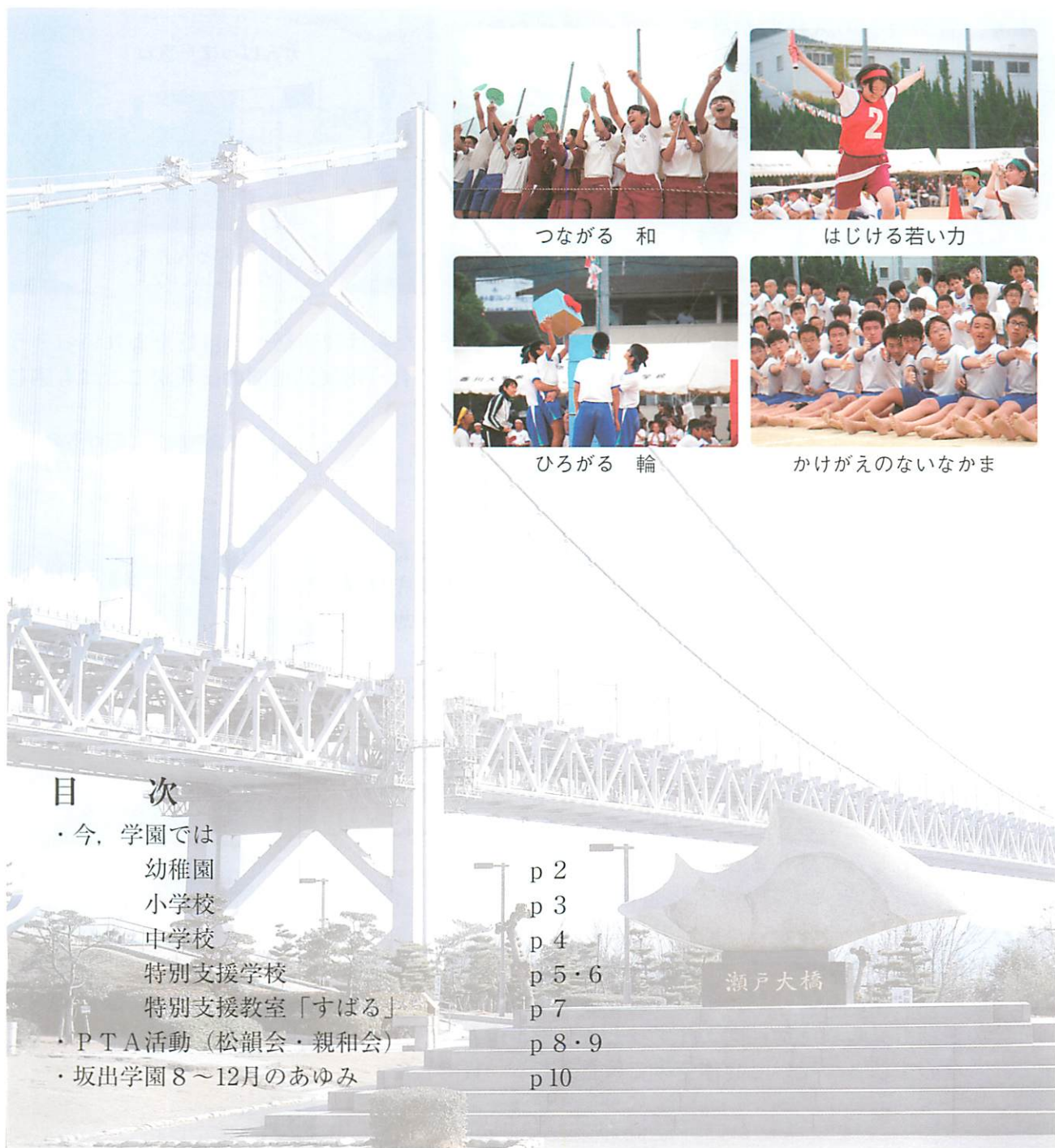


香川大学教育学部

# 附属坂出学園だより

第49号

2014.12



つながる 和



はじける若い力



ひろがる 輪



かけがえのないなかま

## 目次

- ・今、学園では
  - 幼稚園 p 2
  - 小学校 p 3
  - 中学校 p 4
  - 特別支援学校 p 5・6
  - 特別支援教室「すばる」 p 7
- ・PTA活動（松韻会・親和会） p 8・9
- ・坂出学園8～12月のあゆみ p 10





## 秋を歌って、見つけて、感じて



### ～音楽会～

10月9日、隔年で行われている坂出市教育文化祭音楽会（出場は4年に1回）に赤組と青組が出場しました。「世界中の子どもたちが」「秋のメドレー～どんぐりころころ、とんぼのめがね、つき～」を合唱し、大勢の観客の中で保護者の方々に見守られながら、初めての大舞台上に立ち、元気よく歌った子どもたち。当日の姿だけでなく、音楽会への気持ちが高まっていく過程や歌いたいという気持ちが、子どもたちの中からわき上がってくることを大切に活動を重ねてきました。

歌が大好き、隣には一緒に歌える友達がいるという安心感、歌うたびに自信がついていく嬉しさ、自分を出せる気持ちよさ、……そんな気持ちを味わいながら、歌声もだんだんとまとまってきました。そして、前日、年少の黄組さんが発表の様子を見に来てくれました。小さい人から憧れの眼差しと応援のエールをもらったことで、『黄組さんの分もがんばらなくっちゃ!』と子どもたちは音楽祭への自信をよりいっそう高めることができました。異年齢のかかわりがお互いを高め合う附属幼稚園の伝統がここにも感じられました。



坂出市民ホールにて



がんばってくるね!

おにいちゃんたち、かっこいいな。

### ～遠足～

今年の遠足の行き先は、国営讃岐まんのう公園。澄み渡る青い空と広い原っぱ、一面のコスモス畑に、子どもたちは目をキラキラ輝かせ、心も身体も開放的になっていく様子が見られました。思いっきり走ったり、寝っ転がって斜面を感じることを楽しんだり、山のとっぺんから友達と「おーい!」と叫んだり、自然と一体になって遊んでいました。

公園にある大きなボール遊びでは、ボールの動きや感触を楽しんでいる黄組、思いっきり転がすことを楽しむ赤組、友達と相談しながら転がし方を工夫する青組と、年齢ごとに楽しみ方が様々に見られることもおもしろく感じました。

『こんなところにどんぐりが!』と道ばたで見つける子どもたち。秋ならではの発見の喜びもいっぱいでした。

「こっちにバッタがいたよ!」という嬉しそうな友達の声に集まっていく様子や、昼間に見えるお月様を探すなど、普段している園庭での遊びも見られ、幼稚園よりずっとスケールの大きい自然の中で、普段の生活とつないで身体全体で秋を感じる一日でした。



おーい!

転がるのが楽しいね!



見つけた!

どこどこ?  
(そうっと)



まてまて～!



研究主題

## 対話を通じた「思考力」の育成

—「育てるカウンセリング」を生かして、個々の考えを広げ深める授業づくり—

本校では対話を「個々の考えを広げ深める、自己主張と他者受容のある他者との主体的な関わり」と定義し、授業の中に対話を取り入れ「思考力」の育成に取り組んでいます。その際、手がかりとしたことが、「育てるカウンセリング」です。これは、治療的でなく発達を促し、主に集団に対して育て高めるといふ働きをもちます。子どもと子どもの関わりに焦点を当てながら、思考力育成に必要な多様な考えを出させること、それらをつなぎ学び合いを促進させることに重点を置き、今後の研究を深めてまいります。

### 研究授業

#### 4年 音楽科「拍子の違いを感じ取ろう—『エーデルワイス』

『トルコ行進曲』『ラバースコンチェルト』『メヌエット』— 溝渕 佳子



【ペア対話で情景を膨らませる】

本単元では、曲の拍子（2拍子・3拍子・4拍子）を身体表現を通して感じ取ることで、曲を形づくっている要素と拍子を結びつけながら曲想を捉え、情景を豊かに想像することをねらいました。しかし、曲に合わせた身体表現のみでは音の高低や強弱・リズムで拍子を捉えてしまうということが考えられます。その結果、曲想から拍子を決めてしまい、違う拍子と捉えたまま情景を思い浮かべてしまう様相が見られました。そこで、本時は、同じ3拍子で調の違う2曲のメヌエットを聴き比べました。

ペアになり思い浮かべた情景を伝え合う活動では、「ピアノの音色から弾んでいる動きを思い浮かべたけれど、友達はにっこりした表情を思い浮かべているよ。」や「私は音色と調を考えただけれど、友達は速度についても考えているね。」等と違いに気付いていきました。さらに、全体交流を通して情景を表すことばが増え、「2曲目は、少し薄暗いところで悲しそうな表情の人がゆっくり歩くように踊っている。」と、3拍子の『踊る感じ』と音楽の要素を結びつけて、より豊かに想像することができました。

①	感じ	様子	②	感じ	様子
音色	ピアノ	はたいて元気に にっこり うれしそう	音色	リコーン	高いおどけた てんやわんや
速度	遅めらか	ゆくり ゆっくり	速度	軽快	フワフワ 軽快
調	明るい	かんたんに 明るい	調	暗い	暗い おどけた

【要素に着目して情景を話し合う】

#### 6年 図画工作科「感じたことを絵で伝えよう—『心の中の美術館』—

小出 泰弘

本単元では、有名な画家の美術作品から受けたイメージを深め、それが表れるように、水彩絵の具で表される形や色について吟味する力を育てることをねらいました。



【付箋で工夫を表示】

前時までに子どもたちは、ゴッホの「星月夜」からイメージしたことを絵に表してきました。本時の導入では、それらの作品のよさや違いについて話し合うことで、線の形や色に着目しながら工夫していけばよいことを確かめることができました。それにより、子どもたちは、新しく取り組み始めたマチスの「王の悲しみ」についての作品も、線の形や色に着目すれば、よりイメージしたことが表せるのではないかと、課題解決の糸口を見つけることができ、試しの作品を振り返っていきました。

その際、まず、ラミネートをした図版にマーカーで直接イメージしたことを記した上で、試しの作品についての形や色についての工夫を付箋に記入して貼りました。これを示しながら説明することで、工夫とその意図を明らかにし、具体的に共通点や違いについて、話し合えるようにしました。次に、ペアや全体で作品について話し合うときのやりとりの仕方や相手の意見に共感しながら話し合った経験を、掲示で振り返りました。それにより、「カラフルにしてにぎやかさを表しているのがいいですね。私は線の長さを変えて、楽しく踊っているイメージにしました。」「線の形を変えているのがいいですね。私は赤や黄の明るい色で…」のような対話が生まれました。そして、「ほかはこれから、形だけでなく色の種類や明るさを工夫していこう」等、新たな視点を見つけながら、よりイメージに近づけるための表し方を吟味していくことにつながりました。



【矢印付きシートで説明】



## 第4回 あじさいフェスティバル(文化祭)が開催されました！

去る11月3日に、**あたらしい(あいのある) じゅうときりつの さわやかな いばしょ**フェスティバル、附属坂出中学校の文化の祭典が行われました。午前中には**総合学習CAN発表会・総合学習シャトル成果発表会**、午後からは**文化部発表・各学年団発表**が行われました。

### 【最優秀研究 青雲賞】

作製した発電機



#### 「Clean発電研究所」

3年 長尾幸紀さん・2年 若山稜太さん・1年 高橋怜也さん  
太陽光、風力などの自然のエネルギーを有効活用しようと3年間にわたる継続研究を行いました。特に風車の大きさや羽根の形など様々な条件を制御しながらデータをとり、自然の中から見事に電気を取り出せたことが評価されました。



### 【優秀研究 CAN賞】

「憶える方法を考え隊！」

3年 米谷さん・2年 塩井さん・1年 中嶋さん

「トランプ研究会～NEXT～心理学を使った必勝法」

3年 新田さん・2年 川西さん・1年 西川さん

「植物SOUNDSプロジェクト」

3年 宮本さん・2年 森崎さん・1年 坂本さん

「音による人の心の変化」

3年 田村さん・2年 藤田潤さん・1年 川畑さん・高木悠さん

### 【総合学習シャトル特設講座 部門賞】

課題設定力賞 「**声を出して馬鹿力part2**」

3年 津島さん・2年 法兼さん・1年 長尾公さん

課題追究力賞 「**さよなら！方向オンチ**」

3年 雉尾さん・2年 関さん・1年 山本陽さん

表現力賞 「**PR動画作成**」

3年 綾泰さん・2年 西条さん・1年 竹林さん

チームマネジメント賞 「**附坂中のオリジナルムービーを作ろう**」

3年 新居さん・2年 横川さん・1年 大野さん

他にも香川の名産品である希少糖などを入れてつくった「オリジナル石鹸を作ってみよう」や、イグノーベル賞でも話題になった「バナナでつるん」や「附坂中ナップサックを新しくデザインしよう！」など、9クラスターの研究に研究奨励賞が贈られました。



### 午後からの発表



吹奏楽部の演奏

### 各学年団発表



「3年団合唱」 他

### 文化部発表



茶道部 他





# 創立40周年記念行事とふれあい祭り



～保護者とOBと地域の皆さんと～



今年、附属特別支援学校は、附属坂出小学校に「南組」が創設されてから50年。そして、附属養護学校となってからは40年になります。また、現在の府中町に移転してから36年目を迎えました。これまで、多くの方々のご理解と温かいご支援により、今日に至ることができましたことを深く感謝し、11月23日に記念式典を挙行了しました。本校が府中町に移転した当初より、実習田をお借りしての稲作や健康教育には欠かせなかったわらざうり作りの手ほどき、また、獅子舞を披露していただくなど、本校教育の推進に地域の方々のご支援は欠かすことのできないものでした。特に平成元年からは、それまでのもちつき大会や学習発表会等を統合した形で「附養ふれあい祭り」を開催するようになり、ますます地域の方々との交流も深まってまいりました。これまで運動会やふれあい祭りなどの行事を通して、楽しい体験を積み重ねる中で、子どもたちの表情は一層輝きを増しています。創設以来、地域の皆様や附属坂出学園、諸先輩の皆様方の温かいご支援の数々が、本校を府中に根付かせていただいたたまものと心より感謝申し上げます。

記念式典では、香川県教育委員会事務局特別支援教育課長 平畑博人様、並びに坂出市長 綾宏様にご祝辞をいただきました。また、この10年間、本校の児童生徒や卒業生を見守り、行事などの様々な活動で支えてくださった方々に深謝の念を表して、ささやかではありますが感謝状を贈呈させていただきました。

## 獅子舞奉納



### ～鼓岡神社崇徳天皇850年鎮魂祭～

10月26日（日）に府中町の鼓岡神社において、高等部生徒が獅子舞の奉納をしました。鼓岡神社が崇徳天皇没後850年という記念の鎮魂祭であり、本校も創立40周年という節目でした。これまで10年間は「ふれあい祭り」で附養獅子として披露してきましたが、奉納することで校外において初めて披露することになりました。「附養獅子」が11年目になるのにあたり、獅子頭を美術の時間に新調し、鉦や太鼓は音楽の時間で練習、獅子舞は総合的な学習の時間に練習しました。

また、獅子舞の奉納を通して、たくさんの地域の方や県内の獅子組の方々とふれあうことができました。





ふれあい祭りでの各学部の様子を紹介します。

## 小学部

### ステージ発表

毎年恒例、府中小学校4年生の友達との合唱・合奏を披露しました。今年の合唱「ピースフル」では、軽快なリズムにのって、笑顔いっぱい元気に歌って踊って表現できました。また合奏「村まつり」では、府中小4年生はピアノ、本校の子どもたちは、例年のキーボード、木琴、タンバリンなどの楽器に加えて、和太鼓や締太鼓などにチャレンジし、息のあった合奏ができました。



**ふれあいイベント** 発表に引き続き、府中小4年生とゲーム大会をしました。一緒にゲームコーナーを回っていくなかで、ペアの友達を理解し、関わり方を学び、仲良くなっていくのだなと感じました。

**手作り作品販売** カレンダー、メモ帳、壁飾り、カード類、タイルコースターなどの作品作りに取り組み、販売しました。



## 中学部

### 発表 ～音楽発表～

スピード感あるリズムに合わせて、自分たちが考えた振り付けで力強く踊りました。ダンスの後半には、府中湖ゆかりの竜も登場して盛り上がりました。



### ふれあいイベント

今年も、元附属坂出中学校の理科の先生でいらした前田伸雄先生を講師にお迎えして、3種類の動くおもちゃ（風車、重心ごま、ケーブルカー）を作りました。完成したおもちゃを動かして、家族や学生さんと楽しい時間を過ごしました。

**バザー** 作業学習で作ったマット（絵織り班）、お皿・花瓶（陶芸班）、大根・しいたけなど（農耕班）を販売しました。お客様と直接ふれあえるよい機会になりました。



## 高等部

### ステージ発表（附養獅子）

恒例の獅子舞も11年目。今年は新調した獅子に加え、御輿を作り40周年を盛り上げました。高等部みんなで試行錯誤して作り上げた「附養獅子」。練習の成果を堂々と発表することができました。



### 高等部喫茶・作業販売

今年度の喫茶『まうんてんぴーち』は既製の「焼きドーナツ」でしたが、その分お客様に喜んでいただけるよう、心を込めた接待を心掛けました。



また、作業販売（家政・窯業・農耕）も好評でした。





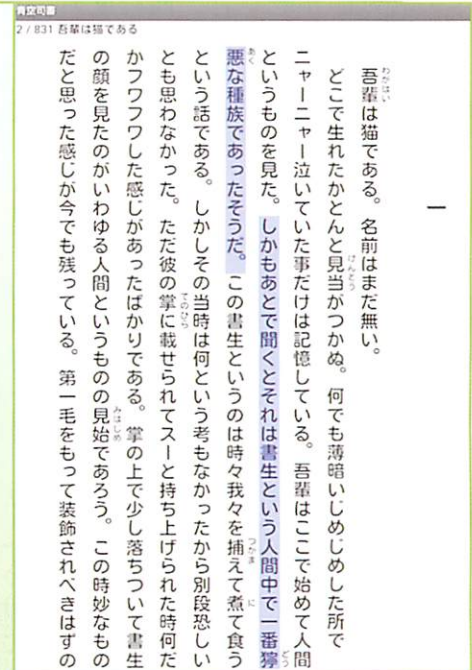
## 特別支援教室「すばる」で活用している教材の紹介

特別支援教室「すばる」の個別指導の実践として、今回はタブレット端末を利用した教材と電子教科書について紹介したいと思います。

日常生活の会話など、聞いて理解することには困らないですが、文字を読むことが難しい中学生に対して、2つのアプリを使用して指導しました。

一つ目は、本人の“気になる小説があるので読んでみたい”という要望に応えるために、ブックリーダーアプリ『青空司書』を使って小説を読み進めていきました。このアプリは、文章の読み上げ機能だけではなく、読み上げている箇所を見失わないように蛍光ペンでなぞったような表示をする機能をもっています(図)。また、特定の電子書籍だけでなく、どのテキストファイルの読み上げも可能です。「すばる」では、小説をデジタルデータ化し、ルビを振ったものを使用しました。聞いて理解することには困っていませんので、読み上げの音声聞きながら文字を追って、ゆっくりとページを進めていきました。文字を読むことと内容を理解することに分けることで、本人は読むことの負担を軽減しながら内容を理解することができ、“この方法なら勉強も何とかなるかも”という思いが出てきたようでした。

二つ目は、学校での学習につなげられるように、教科書のテキストと画像を表示しながら読み上げてくれる『マルチメディアデージー教科書』を利用することにしました。デージー教科書の表示と読み上げには、アプリ『ボイス オブ デージー』を使用しました。もちろんパソコンで使うことも可能です。さっそく授業で習っている単元をタブレットで読み上げてもらいました。本人は、冒頭から音声の流れると嬉しそうな表情で黙って聞いていました。「ここ今やっているところ。」とタブレットを指して言ってくれた姿が印象的でした。



図：青空司書

2008年施行の「教科用特定図書普及促進法（教科書バリアフリー法）」と「著作権法第33条の2」の改正により、学習障害や視覚障害などがある児童・生徒のために、教科書のデジタル化が可能になりました。デージー教科書は、日本障害者リハビリテーション協会を中心に、ボランティア団体が小中学校のほぼ全教科の教科書をデジタル化しています。香川県内の利用者は、2008年以降7名と非常に少ないのが実情です。

今回ご紹介したようなデジタル教材は、お子さん一人ひとりの状態に応じた支援を実現するための有効かつ便利なツールとなります。合理的配慮の観点からも、今後はデジタル教材の活用が進んでいくことでしょう。将来的には、香川県の教育現場でもデジタル教材が広く認知され、文字を読むことが困難なお子さんに対する支援として弾力的に活用されるようになってほしいと思います。そのためにも、「すばる」ではデジタル教材の活用を含めて有効な指導法の開発・検証に取り組み、その成果を地域に発信していきたいと考えています。



## 幼稚園より

## 絵本の読み聞かせ

子どもたちに本に親しんでほしいという思いから保護者による絵本の読み聞かせを月二回程度おこなっています。絵本を読むだけでなく、紙芝居をしたり、手作りのペープサートなどを使ったりしながら、子どもたちの本への関心を高める活動をしています。今後も題材を工夫して楽しく続けていきたいと思えます。



おいしいカステラできるね！  
『ぐりとぐら』

## ウェンディの会 ～防災についてのお話～

11月19日（水）、香川大学防災センターの松尾裕治先生を招き、『家庭での防災対応・対策について～小さな子どもを守るために大切なこと～』についてお話ししていただきました。

四国における地震や津波について、歴史からの学びを現在に生かす大切さ、現代の様々なデータからの想定情報を知る大切さ等、詳しくわかりやすく伝えてくださいました。「ハイテク防災術」だけでなく「ローテク防災術」に目を向け、非常時に何を備えるとよいか、何ができるかを日々意識しておくことが身を守ることにつながる話は納得でした。【自分が死んではいけない】【自分が守らなければならない人を最後まで守り抜く】という言葉が心に残りました。早速、〈じしんまんの5ひきの手下〉から守る正義の味方〈やっつけるんジャー〉について、子どもと一緒に話し合い、防災に備えていきたいと思えます。新聞紙スリッパ、ロープワーク等、実際役立つことも多く学ぶことができました。



浸水対策には「さぐり棒！」



「もやい結び」に挑戦中

## 小学校より

7月27日（日）に四国附属PTA連合会の親睦スポーツ大会が附属坂出の主管で開催され、ソフトボールのファーストピッチの部では坂出が見事優勝しました。当日ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

## 全附連絵画コンクール

夏休みに実施された全附連絵画コンクールで、6年生の大面未紗さんの絵画“南国のゆきだるま”が、全附連会長賞を受賞しました。画家の日比野克彦さんも審査に加わる全国区のコンクールだけに、大変な快挙です。おめでとうございます。



## 土曜メンテナンス

10月25日（土）に、恒例の土曜メンテナンスを実施しました。46名の参加があり、なわとびのジャンピングボード、教室のカーテン補修、雑巾干し台ペンキ塗り、歯ブラシコップ立てメンテ等を行いました。みなさんと集中して作業をしていただき、スムーズに終わることができました。ジャンピングボードには大人気のジバニヤンのイラストを入れるなど、遊び心満載の作業でした。今回参加できなかった方も、次回は一緒に楽しみましょう。





## 中学校より.....

11月24日、祝日の月曜日に坂出市のPTAバレーボール大会が開催されました。我々PTA松韻会では保護者が男女に別れ、毎週金曜日19:30~21:30までの2時間、附属中学校体育館で練習を行っています。夏の四附連球技大会の影響もあり、例年にも増して多くの参加者を集めることができました。中学校は男子3チーム、女子2チーム、小学校は男子2チーム、女子2チーム、幼稚園は男子3チーム、女子3チームと合計15チームでの参加となりました。もちろん、坂出市PTAの中でも最大の参加数です。



特に中学校男子Aチームは昨年に続いて今年も優勝することができました。

練習はハードですが、スポーツを通しての親睦、また交流は深い絆を作ります。毎年行われているスポーツ大会の反省会は非常に盛り上がり、大勢の参加者で賑わいました。継続行事なので、気になる方は気軽に松韻会までお声掛けください。スポーツを通して親睦を図りましょう。

## 特別支援学校より.....

### 中国・四国ブロック大会に参加して



10月3日・4日に開催された「第25回中国・四国地区特別支援学校知的障害教育校PTA連合会研究協議会」に参加してきました。この会は、中四国9県の持ち回りで開催され、講演や実践報告、全国大会の報告などが行われています。

今年度は、鳥根県立浜田養護学校が当番校でした。石見神楽が有名な地域で、この養護学校にも神楽部が存在し、開会行事では生徒たちが立派に演目を披露してくれました。

心に残ったのは、元鳥根県立米子養護学校PTA会長で、知的・発達障害者の生活スキルやカルチャーのための塾として「株式会社Mao」を設立された松下弘美さんの講演です。多くの仲間と協力しながらチャレンジを続けることの喜びが伝わってきて、聞いている方も元気をもらえました。今でこそパワフルで明るいお母さんという印象ですが、二人の自閉症のお子さんを抱えて悩んでいた時期もあったとか。思い切ってPTA役員を引き受けたことが転機となったようです。

この松下さんをはじめ、親交の深いグループが中心となり、中国・四国ブロック大会は毎年盛り上がりを見せています。県が違って、子どもが卒業しても、つながりを大切にし、お互いの活動を応援し合う仲間が、この大会から生まれています。

他にも、浜田養護学校での就労に向けた実践報告や、障害者就業・生活支援センター「レント」所長の小倉氏による、卒業後のサポートに関する取り組みを聞くことができたのも、大きな収穫となりました。





一票の重みを学びました

10月3日(金)に、任期満了に伴う生徒会役員改選が行われました。各候補者達は、登校時間に正門であいさつ運動を行ったり、昼食時間に各教室を訪れて自分の主張を伝えたりと、意欲的に選挙活動を展開しました。立会演説会では、生徒会長の梶裕太郎さんが、どのような学校にしたいかをインタビューし、各候補者は堂々と持論を発表していました。投票は、市長や国会議員の選挙でも使用されている投票箱を坂出市からお借りし、厳粛な雰囲気の中で整然と行われました。選挙管理委員から一人一人に手渡された投票用紙に全校生が真剣に記入し、清き一票を投じました。新生徒会によって、附属坂出中学校が全校生一人一人にとって、ますます明るく楽しい居場所となることを期待しています。



香川県シェイクアウト  
(県民いっせいで震災防災行動訓練)を行いました

1854年に発生した安政南海地震の津波の際、稲に火をつけて暗闇の中逃げ遅れていた人々を高台に避難させて救った「稲村の火」の逸話にちなみ制定された「津波防災の日」である11月5日に、昨年度に続いて実施しました。朝の会の途中に緊急地震速報が突然流れ始め、生徒達は、DROP!(まず低く)、COVER!(頭を守り)、HOLD ON!(動かない)という行動目標の下、すばやく自分の机の下に入って身を守る体勢をとりました。もしもの時にどう行動すべきかを確認する機会となりました。



附坂中の新しいゆるキャラができました

総合学習CANにおいて、阿河義輝さん(3年)、西村航成さん(2年)、角野舞音さん(1年)の研究クラスターが、総合学習CAN、シャトルの新しいキャラクター、「CANどる(ハリネズミ)」と「シャトルん(ペンギン)」を開発しました。全校生から集めた好きな動物のアンケートをもとに考案され、附坂中の誰からも愛されるキャラクターになってほしいという願いが込められています。附坂中に来られた際は、ぜひ探してみてください。



CANどる シャトルん

中学校

人権講演会

10月8日(水)、人権に関する授業参観日に合わせて、人権講演会が行われました。講師は元東部小学校校長の大前正昭先生です。保護者から約210名もの希望者が参加し、5、6年生児童約150名と合わせて盛大に行われました。演題は「大切なわたし 大切なあなた」で、「耳は最後まで聴くためにある。目はよいところを見つけるため、手足は人を助けるため、心は人の痛みが分かるためにある。」という言葉が印象に残りました。子どもの自尊感情を育てながら、人のよさも認められるように育てたいとのことで、保護者の方も納得の表情でした。



情報モラル教室

11月5日(水)、情報モラル教室が行われました。こちらにも参加を希望した保護者と5、6年生児童を対象とし、合わせて約170名が参加しました。

近年は、スマートフォンやパソコン、ゲーム機等で児童が学校外を含めた様々な人々と関わることができ、また知識が不足しており、的確な判断をすることが難しい児童が、安全に生活できるようにこのような教室を企画しました。高松の「e-とびあ・かがわ」から来られたインストラクターの先生からは、ネットいじめや金銭トラブル、健康を害する使い方等の例を挙げながら、そのような失敗をしないためにどのような心がけや対応が必要かを話していただき、よい勉強の機会となりました。



小学校

特別支援学校

小学部 リニューアル!!



更衣室、トイレが新しくなりました。ステキに変身した小学部を附属学園の皆さんに紹介したいと思います。

更衣室

ドアの前の、のれんは卒業制作です。更衣室は冷暖房完備で、じゅうたんを敷いてくれているので、とても着替えがしやすいです。



トイレ



廊下からトイレの出入り口は、バリアフリーです。多目的トイレも整備してくれて、みんなが使いやすくなりました。教室のトイレもピカピカです。

小学部のみんなにとっても、学校に来てくれる人にとっても、とても優しい環境になりました。ぜひ、皆さんも来てくださいね。



幼稚園

「親子で楽しく運動遊び」&「朝ごはんの話」～家庭教育学級～

10月24日、香大の藤元恭子先生と一緒に「親子運動遊び」を行いました。子どもたちが好きな冒険(お出かけ)をテーマに、体を曲げたり伸ばしたり、跳んだり支えたりと色々な動きをする中で、幼児期の子どもに大切なバランス感覚、体の支持、柔軟性など、保護者へのアドバイスを含め、みんな汗をかきかき、笑顔いっぱいひときどきでした。「朝ごはん、なぜ大切な?」という思いに藤原章司先生が脳や心とのつながり、病気の予防等、ユーモアを交えてわかりやすくお話をしてくださいました。保護者の方より、早速「家庭での食事を見直したい!」「一緒に食事をする大切さを改めて感じた!」「食って、大事。家族を守りたい」という子どもの食育、家族の健康への意識と思いが改めて高まっていく言葉が届けられました。



ブランコみたい。 長～いトンネルだ!

保育参加

11月6、7日に保護者の方に保育に参加していただきました。青組では木工遊び、赤・黄組では秋の素材のおもちゃ作りなど工作、そして、草花色水作りや泥団子作り、サッカー等を子どもたちと楽しみました。子どもの遊ぶ姿を側でじっくり感じたり、子どもの発見に驚かれたり、子ども同士の姿に温かさを感じ取られたり。子どもが大きくなる姿をともに受けとめてくださる目、言葉に、「一緒に育ち合う」気持ちを実感しました。



一緒に作るうね。

編集後記

今年の秋は、毎週のようにやってくる台風が日本列島に大きな影響を及ぼしました。学園運動会の開催も心配されましたが、園児、児童、生徒、保護者、教職員のご協力のおかげで、最終曇り空ではありましたが、快適なコンディションの中で、すべての競技、種目を予定通り終えることができました。様々な方面からのご協力、本当にありがとうございました。

また今年も秋から冬にかけて、たくさんの作品や学習成果の発表が行われました。その作品等の一つ一つから、皆さんの思いや情熱が伝わってくるのと同時に、私達の方が、計り知れないエネルギーを与えられるのです。何時間もかけて仕上げたのだから、家族の温かい支えがあったのだから。目には見えない尊い物語を感じ取ることで、私達もがんばらなければと背中を押される思いです。平成26年が終わろうとしています。今年1年を振り返り、来年がさらに充実したすばらしい年となるよう、心の準備をしたいものです。学園の全員と冬休み明けに再び会えることを心から祈っています。

関係の皆様方、附属坂出学園に対し、厚いご支援をいただき心より感謝申し上げます。今後とも引き続きご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

発行年月日：2014年12月19日

発行事務局：香川大学教育学部附属坂出小学校内

- 倉野 晴代 (附属幼稚園)
- 樽本 導和 藪内 雅昭 (附属坂出小学校)
- 小林 理昭 中西 健三 (附属坂出中学校)
- 伊藤 宏美 合田 卓生 (附属特別支援学校)